

(科目コード : 1100720004MM)

【改訂】第15版(2017-03-21)

【科目】国語演習

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】機械 4年

【担当教員】太田 たまき, 田村 祐子

### 【授業目標】

的確で論理的な文章を作成するための基礎的表現技術を理解し、応用できる。  
信頼性を重視して必要な情報を収集・選択・分析し、論理構成に活かすことができる。  
相互批評・相互添削を通じて、他者の表現を客観的に評価すると共に建設的に助言することができる。  
相互批評や推敲を重ねることによって、文章作成過程で留意すべき要件を理解し、実践できる。

### 【教育方針・授業概要】

20名前後の少人数クラス編成により、授業目標の達成にむけて実践的に学習する。

### 【教科書・教材・参考書等】

参考書：新訂 総合国語便覧：第一学習社：9784804033013

教科書は指定せず、授業担当者の作成したプリントを教材とする。なお、「新訂 総合国語便覧」を持参することが望ましい。

### 【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

授業形式：クラスを二つに分け、主として演習形式により、適宜解説的講義を交えて授業を展開する。

視聴覚機器：使用しない。

### 【メッセージ】

日本語の使い手としてレベルアップすることを心がけて下さい。

### 【事前に行う準備学習】

「新訂 総合国語便覧」の「表現の学習」(pp.432-457)に目を通しておいてください。

### 【成績評価方法】

[後期]小論文(1) 50% : 小論文(2) 20% : 自己調書 20% : 提出物 10%

### 【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	建設的な相互批評や推敲を重ねることによって、文章作成過程で留意すべき要件を理解し、実践できる。	50 %	小論文(1)50%の割合で評価する。
2	的確で論理的な文章を作成するための基礎的表現技術を理解し、応用できる。また、必要な情報を収集・選択・分析し、論理構成に活かすことができる。	50 %	小論文(2)20%・自己調書20%・提出物10%の割合で評価する。

### 【本校の学習・教育目標】

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

### 【JABEE評価】

(f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力

### 【授業計画】(国語演習)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	小論文(1) 小論文作成	小論文を書く基礎を確認しつつ、今後の演習の方針を確認する。設定された課題について小論文を作成する。	小論文(1)	
第2回	小論文(1) 相互批評	学生同士で、小論文を相互に批評する。		演習問題
第3回	小論文(1) 相互批評	学生同士で、小論文を相互に批評する。		演習問題
第4回	小論文(1) 相互批評	学生同士で、小論文を相互に批評する。		演習問題
第5回	小論文(1) 相互批評	学生同士で、小論文を相互に批評する。		演習問題
第6回	小論文(1) 相互批評	学生同士で、小論文を相互に批評する。		演習問題
第7回	小論文(1) 相互批評	学生同士で、小論文を相互に批評する。		演習問題
第8回	敬語	尊敬語・謙譲語・丁寧語の定義を理解し、適切な運用能力を身につける。	授業内でワークシートによる演習を行う。	授業内ワークシートの復習
第9回	エントリーシートと挨拶文の基礎	エントリーシートや挨拶文の基礎、ルールを学ぶ。	授業内でワークシートによる演習を行う。	授業内ワークシートの復習
第10回	自己調書の基礎	自己調書の基礎を学び、下書きを作成する。		下書きを完成させる。
第11回	自己調書の実践	下書きの内容を検討し、清書を完成させる。		清書を完成させる。
第12回	悪文訂正	悪文の訂正作業をとおり正しい表現を身につける。	授業内でワークシートによる演習を行う。	授業内ワークシートの復習
第13回	小論文の書き方	適切な小論文の書き方について学び、下書きを作成する。		下書きを完成させる。
第14回	小論文の推敲	小論文の相互批評をとおり、自己の小論文の推敲を行う。		推敲を完成させる。
第15回	小論文の完成	小論文の清書と総括。	小論文(2)	